

新村地区



新村地区の人家多くは、大仏山公園として整備がされている玉城丘陵と宮川により形成された氾濫平野の間に位置しています。玉城丘陵は、浸食が進み比較的緩やかな形状をしていますが、地盤を形成する領家花こう岩は、深層まで風化が進んでおり、崩壊など土砂災害を起こしやすい地質です。また、南側の水田地域は、氾濫平野であり、豪雨時には、浸水を引き起こしやすい低地となっています。また、これらの低地は、大規模地震時などには、液状化現象を引き起こしやすいことが知られています。

近年、土砂災害の発生履歴はないもののいつ災害が発生してもおかしくない地域です。

災害発生の可能性が高まった時 どのタイミングで だれと どのように どこへ 避難するのか

- 次の各ステップに従って、必要な情報をこのマップ(P.5 ~ P.12)に実際に書き込んで、あなたの家族だけの防災マップを完成させてください。
- マップに赤いペンなどで避難経路、危険な箇所を直接追記してください。
- 津波、土砂災害、洪水、地震時では、安全な避難場所や避難経路が異なる場合がありますので、災害の形態に合わせてそれぞれ選択しましょう。
※津波、洪水については「伊勢市防災マップ」で確認しましょう。

第1段階

このマップからあなたの家を見つけ、周辺の危険箇所などの状況を確認しましょう。

- あなたの家は?
- あなたの家の周辺には、危険な箇所がありますか?



第2段階

あなたの避難所と避難経路を確認しましょう。

- あなたの家から避難所までの所要時間はどれくらいですか?
- 避難所までの間にある土砂災害危険箇所を確認しましょう。
- 指定避難所以外の避難場所、避難経路の候補はありますか?



第3段階

あなたが地図上で選択した避難経路を安全に避難できるか確認しましょう。

- 避難経路に沿って、災害の起きそうながけはありますか?
- 避難経路上で浸水するような場所がありますか?
- 避難経路の近くにマンホール、道路の側溝、深く窪んだ場所などがありますか?
- 避難経路に沿って、夜間でも避難できるような街灯などはありますか?
- 避難経路沿いで避難の呼びかけなどをしていく住宅等はありませんか?



より現状にあったマップとするためにP5~P12のマップを自分で更新しましょう。

避難カード

17・18 ページを参考にして、下の「わたしの行動メモ」に土砂災害への対応を記入し、それぞれの状況でどういう行動をするか、事前に確認しておきましょう。



わたしの行動メモ

● 「高齢者等避難」が発令されたら? 例) おじいちゃんは避難をはじめます。	● 今後大雨が降り続きそうなどとき (※台風や集中豪雨) 例) 大雨になる前に避難所に避難をはじめます。
● 「避難指示」が発令されたら? 例) 家族で考えた高台など安全な場所へ避難する。	● 土砂災害の前兆現象を発見したら? (※16 ページ) 例) 伊勢市に連絡し、危険を感じたら避難をはじめます。
● 「緊急安全確保」が発令されたら? 例) 建物の上階へ移動する。	● 逃げ遅れたときは? 例) 自宅二階の裏山から離れた場所に避難する。

MEMO

避難の時期を逃した場合は、 斜面からなるべく離れた部屋や二階に避難する等の対応をしましょう。

このほかにも、テレビやラジオなどで気象情報も確認しましょう。(※詳しくは 17 ページを参照) 様々な情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

避難所

伊勢市では、統一的な基準を設定し、災害時の避難所を指定しています。避難所(自主避難所を含む)を伊勢市防災マップで確認しておきましょう。



指定避難所(明野小学校等)

職員を派遣し、市が開設する避難所。原則として学校・体育館等の大規模人員を収容できる施設。

津波緊急避難場所(市営大仏山公園等)

津波から一時的に避難する施設(場所)であり、避難生活をする場所ではない。

自主避難所(小俣保健センター等)

台風接近時など、避難指示等を発令する前に自主避難できるよう開設する避難所です。

自治会避難所(東新村公民館、西新村公民館等)

自治会が自主的に開設する避難所です。

※伊勢市では、順次避難所の見直しを実施しています。